

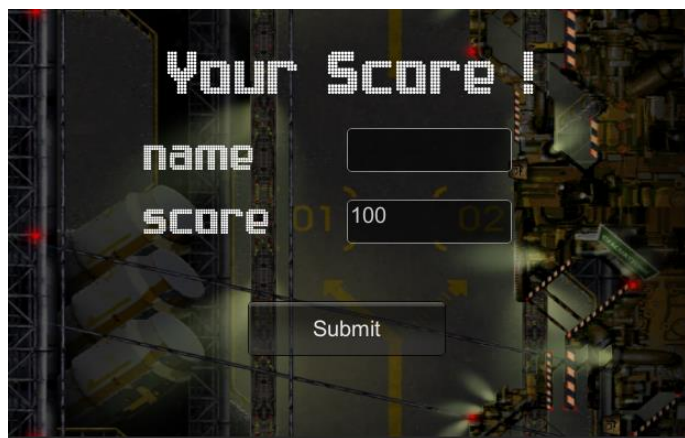
# Unityゲーム× ニフティクラウドmobile backend 体験会



```
NCMBOBJECT object= new NCMBOBJECT("Score");  
object["score"] = gameScore;  
object.SaveAsync();
```

たった3行のコードでデータが  
サーバーに保存できる！？

## オンラインランキングを実装する！



Unityチュートリアル「2Dシューティング」にニフティクラウドmobile backend(mBaaS)を導入します。

この体験会では下記の二つのことが体験できます

- ・ゲームスコアの保存
- ・ランキングの実装



どちらもアーケード形式を想定してご案内いたします。30分ほどのお時間をいただくかと思いますが、なにとぞよろしくお願いいたします。

- ごあいさつ
- ニフティクラウドmobile backendについて
- 体験会について
- 事前準備
- mBaaSとの接続
- スコア保存実装の流れ
- ランキング実装の流れ
- まとめ

本日はニフティブースに  
お越しいただきありがとうございます。  
ハンズオンはmBaaSを使って  
Unityゲームにサーバー機能を、  
「**素早く 無料**」で導入するハンズオンです。  
ハンズオンでは下記の2つのことが体験できます。

- ・ ゲームスコアの保存
- ・ ランキングの実装

ぜひお楽しみください！



スマートフォンアプリの**バックエンド機能**が  
**開発不要**になる**クラウドサービス**

ニフティクラウドmobile backendとは  
mBaaS(mobile backend as a Service)と呼ばれる  
クラウドサービスのジャンルのひとつで、  
スマートフォンアプリでよく利用される汎用的な機能を  
クラウドから提供するサービスです。

クラウド上に用意された機能を  
API・SDKで呼び出すだけで利用できるので、  
サーバー開発・運用不要でよりリッチなバックエンド機能を  
アプリに実装することができ、工数削減による  
コストカット・スピードアップに貢献します。

※SDKはUnity,iOS ,Android,JavaScriptの4つを提供しております。

## 提供中の機能





## UnitySDKで提供中の機能



SDKで  
できる  
こと

## ユーザーログイン認証



## Android・iOS各プラットフォームへの プッシュ通知配信



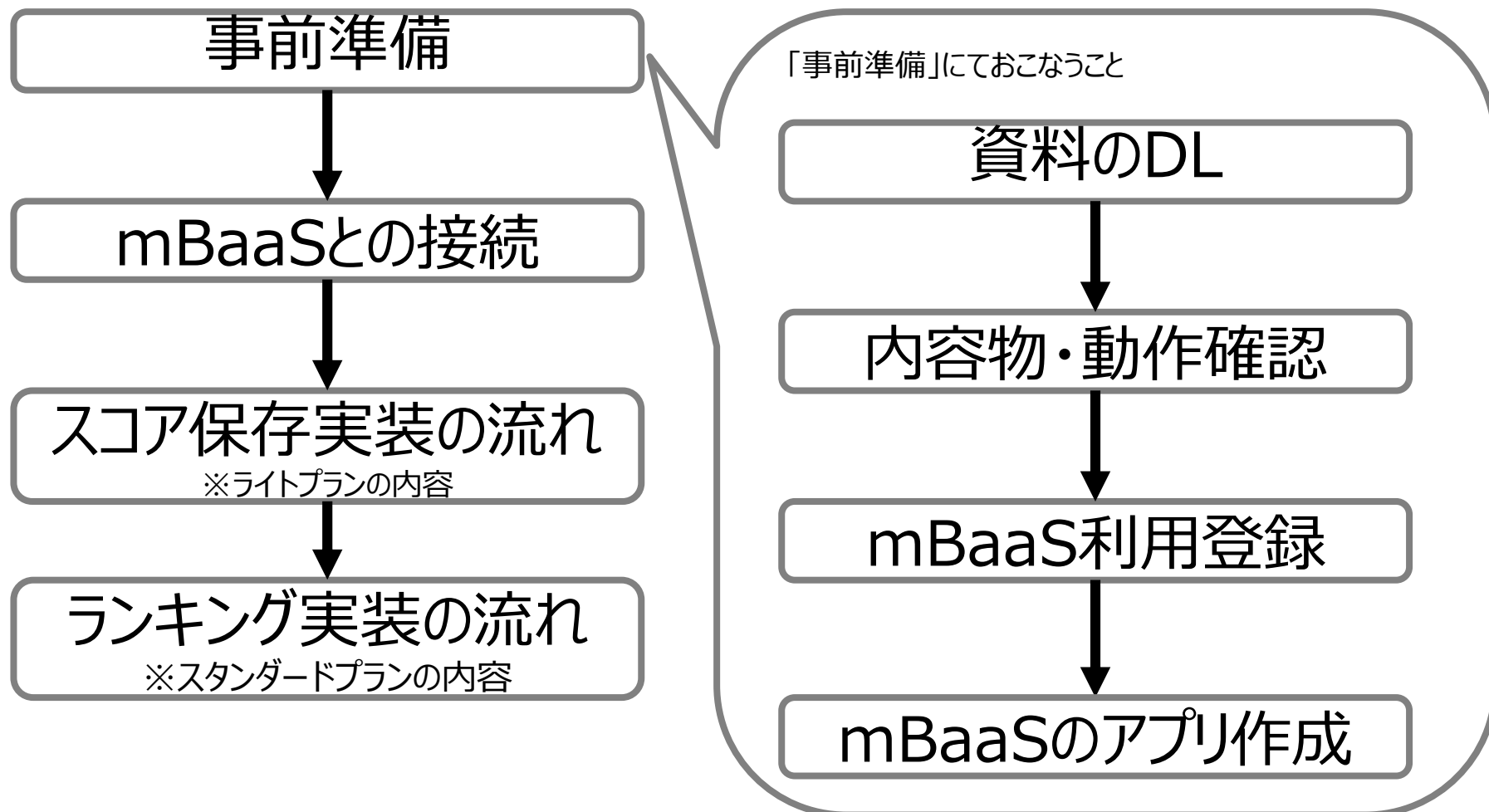
リッチプッシュ通知を開く



## オンラインランキング



本日の体験会は大きく分けて4つのフローで行います。  
まずは事前準備からです。



※mBaaSのアプリ作成とは、  
アプリ用のサーバー環境を作っています。

# 資料が ↓ にあります

[https://github.com/hounenhounen/NCMB\\_CEDEC\\_2DShooting](https://github.com/hounenhounen/NCMB_CEDEC_2DShooting)

hounenhounen / NCMB\_BitSummit\_2DShooting

Unwatch 1 Star 0 Fork 0

Description Website

Short description of this repository Website for this repository (optional) Save or Cancel

2 commits 1 branch 0 releases 1 contributor

branch: master NCMB\_BitSummit\_2DShooting / +

Commit2	Commit2	Commit2
hounenhounen authored an hour ago	latest commit 9d40c5d97f	
complete	Commit2	an hour ago
handson	Commit2	an hour ago
NCMB_BitSummit_2DShooting.pptx	Commit2	an hour ago

Help people interested in this repository understand your project by adding a README! Add a README

HTTPS clone URL  
https://github.com/

You can clone with HTTPS, SSH, or Subversion

Clone in Desktop

Download ZIP

ここよりDLしてください



## 内容物確認

DLファイルフォルダには、以下の2つが含まれています。



### 注意

1. 本資料を置くフォルダのパスに全角文字は使用しないでください。エラーが表示されることがあります。
2. 本ファイルはUnity4系で作成しています。5系を利用の方はUpgradeが必要です。

## 動作確認

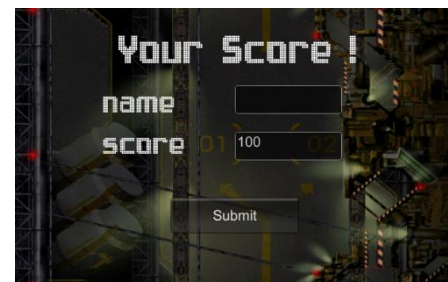
体験会で使うフォルダの中にAsset> Scenes Stage.sceneをダブルクリックしてゲームを実行してください 実行時とゲームオーバー時に下記の画面が出ればひとまず大丈夫です。

実行・ゲームオーバー時に  
下記の画面が出ればOK

ゲーム実行時の画面



ゲームオーバー時の画面



まず、下記URLよりmBaaSのサービスサイトにアクセスしてください。

<http://mb.cloud.nifty.com/>

※右クリックして新しいタブで開くと便利です。

ここをクリック



無料登録をしていただくと、  
@nifty会員登録を  
行うフローに移ります。  
登録いただいた後、  
mBaaSにログインしていただくと  
利用登録が行えます。  
次項以降の説明に従い、  
利用登録を行ってください。

## ID登録（即時・無料）

IDは即時・無料で発行いただけます。

### サインアップ

個人会員として登録ご希望の方

法人会員として登録

ここをクリック

#### STEP1

ニフティクラウド mobile backendをご利用いただくには、  
@nifty会員への登録が必要です。（登録料/会費は無料）。

@nifty会員の登録（無料）

すでに@nifty会員の方はSTEP2へお進みください。

ニフティの法人会員としてご契約いた  
mobile backend利用料金を企業・団体  
Webまたは郵送にて@nifty法人IDの取  
い。なお、法人としてご契約いただ  
種団体・グループ単位となります。

#### STEP1 @nifty法人ID取得

「@nifty法人ID取得フォーム」から  
行ってください。なお、申込書（郵

必要事項を入力して@nifty会員登録してください。

## 無料でID登録

まずは無料から、ニフティクラウド mobile backendをお試しください！

基本情報の入力

ユーザー名 ※	<input type="text"/>	・入力時における注意
パスワード ※	<input type="password"/>	・使用できる文字 【ご注意】パスワードの不正利用を防ぐために
メールアドレス ※	<input type="text"/>	・入力されるメールアドレスについて

@nifty会員規約 個人情報の取り扱いについて

個人情報の取り扱い及び@nifty会員規約に同意し

登録

利用規約を  
確認後、同意して  
利用開始！

利用規約

### ニフティクラウド mobile backend利用規約

#### 第1条 (利用規約)

1. 本利用規約は、ニフティ株式会社（以下「ニフティ」といいます。）が提供する「ニフティクラウドmobile backend」（以下「本サービス」といいます。）の利用にかかわる一切に適用されます。
2. ニフティがユーザーに通知する本サービスの説明、案内、利用上の注意等（以下「説明等」といいます。）は、名目のいかににかかわらず本利用規約の一部を構成するものとします。
3. ニフティは、ユーザーの了承を得ることなく本利用規約を随時変更することができるものとします。変更後の本利用規約は、ニフティが本サービスのホームページ上に掲載することでユーザーに通知した時点より効力が生じるものとします。

#### 第2条 (仕様)

☐ 以上の規約に同意する

キャンセル

アカウント登録

ここをクリック



ご登録いただいた  
@nifty IDで  
ログイン

【お知らせ】SSL3.0脆弱性への対応に伴うブラウザ

@niftyユーザー名または、@nifty IDをお持ちの方

@niftyユーザー名または @nifty ID

パスワード

☐ セキュリティキーボード [ヘルプ](#)

☐ ログインしたままにする（共用のパソコンではチェックを外してください。）

ログイン

利用登録が終わると  
アプリの新規作成画面が表示されます。  
アプリ名を入力して新規作成してください。

「ced\_2dst」  
と入力してください

## アプリの新規作成

アプリ名

半角英数字もしくはアンダースコア

戻る

新規作成



✓ 新しいアプリが作成されました

IoTBlogAppアプリが作成されました。

SDKを利用して、mobile backendと連携したアプリを開発しましょう！  
詳しくはクイックスタートをご覧ください ([iOS](#) / [Android](#) / [Javascript](#) / [Unity](#))

### APIキー

アプリケーションキー 2417fd23d90bdc35ba48f5b0b48164ec6a4021c139e3419 コピー

クライアントキー b4cc5b1c55ad012f7c91b2ddc4e2a65f75c0fa29d447d1a5 コピー

APIキーは[アプリ設定](#)からいつでも参照できます。

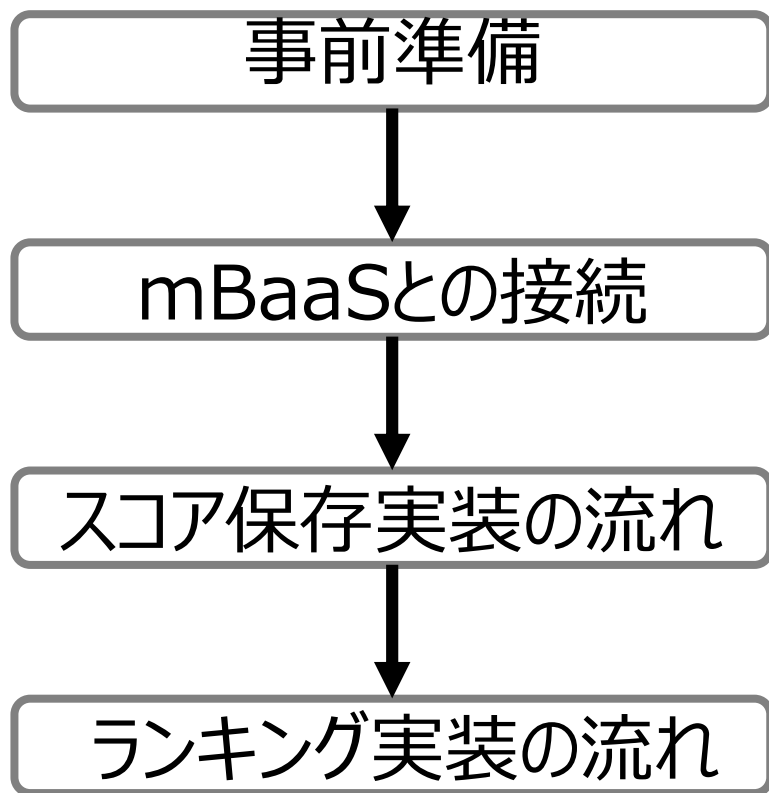
OK

2つのキーは  
後で使います

OKをクリックすると  
管理画面が表示されます

mBaaSは、「アプリケーションキー」  
「クライアントキー」の2つのキーを使い、  
サーバー接続の認証を行っています。  
その2つのキーがアプリ作成時に生成されます。

事前準備が終わりましたので次は自分のmBaaS環境とUnityプロジェクトが通信できるようにします。



「mBaaSへの認証をとおす」にて行うこと

SDKのDL・インポート

NCMBSetingsの設定

キーの設定

動作の確認

赤枠部分は、すでに作業を済ませていますので、最後の「キーの設定」のみを行ってください。また本資料には赤枠部分の説明もございます。  
※NCMBとはNifty Cloud Mobile Backendの略称です。

※今回は本ページの作業を行う必要はありません。

## SDKのDL

[https://github.com/NIFTYCloud-mbaas/ncmb\\_uni/releases](https://github.com/NIFTYCloud-mbaas/ncmb_uni/releases)

のページを開くと下記のページが開かれます。  
赤丸の部分をクリックしてSDKをDLします。

NIFTYCloud-mbaas / ncmb\_uni

Releases

Tags

Latest release

v1.1.4

ncmb sdk released this on 31 Mar

- NCMBPushのプッシュ通知登録に以下の設定項目を追加
  - Category
  - DeliveryExpirationDate
  - DeliveryExpirationTime

### Downloads

NCMB1.1.4.zip

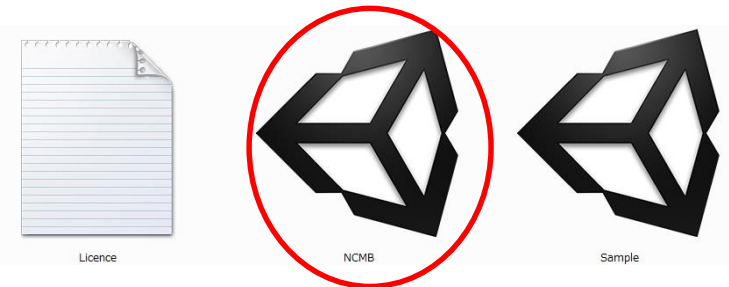
Source code (zip)

Source code (tar.gz)

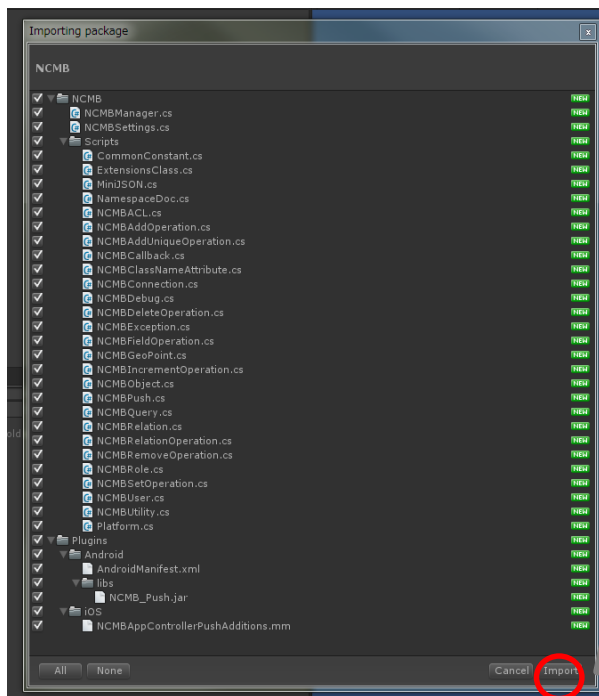
クリックすると  
DLできます

DL終了後  
インポート  
へ

SDKのファイルを展開すると  
下記のような構成になっております。



先ほどDLしたサンプルゲームを開いた状態で  
NCMB\_latestのUnity package file「NCMB」を  
ダブルクリックすると下記↓の画面が表示されます。



表示された  
画面の「Import」  
をクリックすると  
Import可能

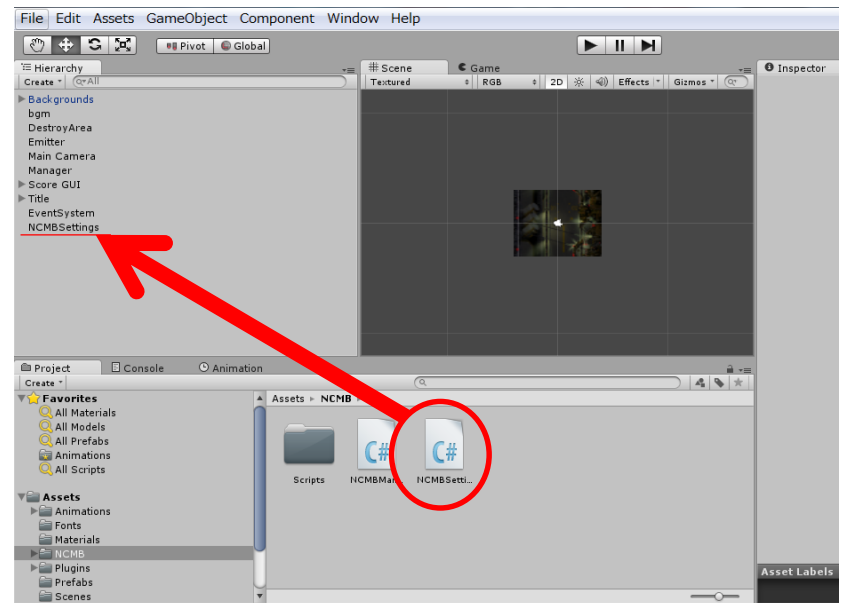
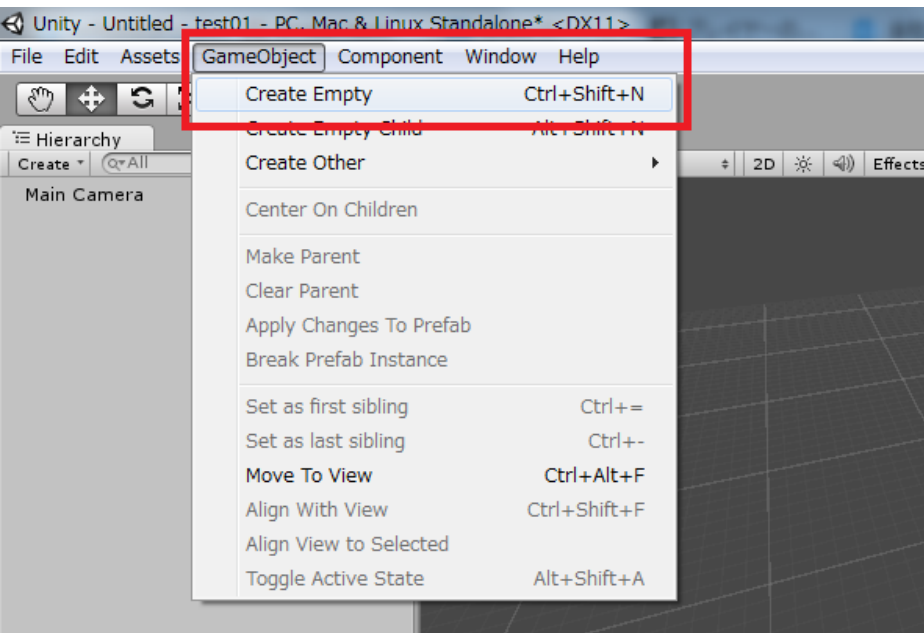


※今回は本ページの作業を行う必要はありません。

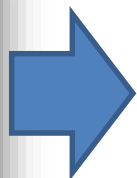
mBaaSへの認証のための設定を行う  
NCMBSettingsスクリプトを利用するための作業を行います。

Asset>Scenesの「Stage」シーンを開いて  
空のGame Objectを作成し  
「NCMBSettings」にリネームします。

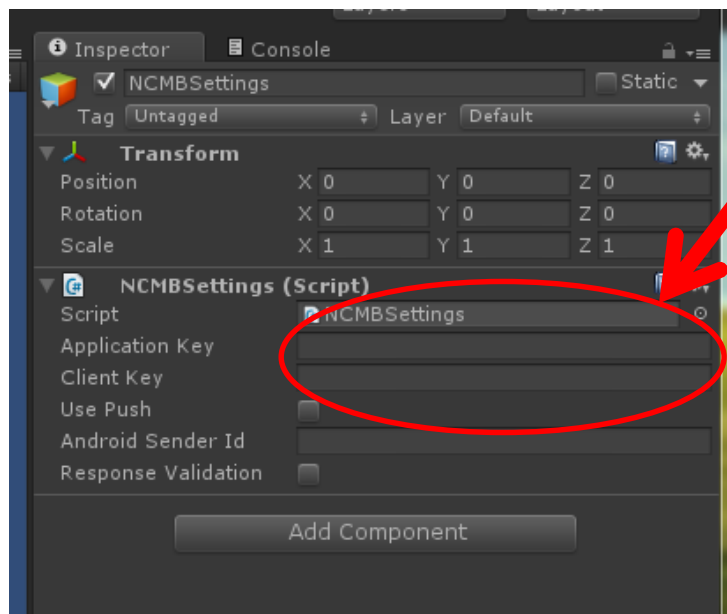
Asset>NCMBの「NCMBSettings.cs」を  
「NCMBSettings」のゲームオブジェクト  
にアタッチします。



まず、mBaaSのアプリ作成で管理画面を開いた方にキーの見方をご案内します。



次にキーの設定についてです。  
UnityのHierarchy配下にある  
NCMBSettingsをクリックし  
そのインスペクター部分に  
アプリケーションキー、  
クライアントキーを設定します。



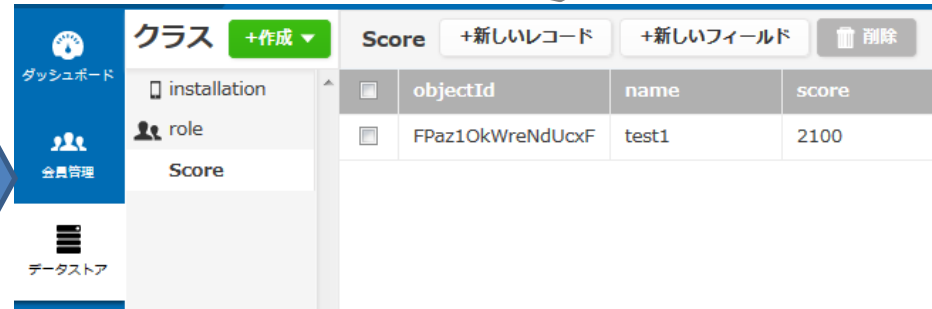
# 動作確認

スコアの保存は一度Asset>Scenesの「Stage」シーンに戻っていただきゲームを実行してください。  
下記のスコア画面で「Submit」ボタンを押下後、mBaaSをご確認ください

ゲームオーバー後  
管理画面よりデータストアを  
ご確認ください左記のように  
データが入っていれば成功です。



mBaaSを  
確認



ランキングの確認は  
スタート時の画面の左上「Leader Board」ボタンを押下し、  
ランキングが表示されることを確認してください。

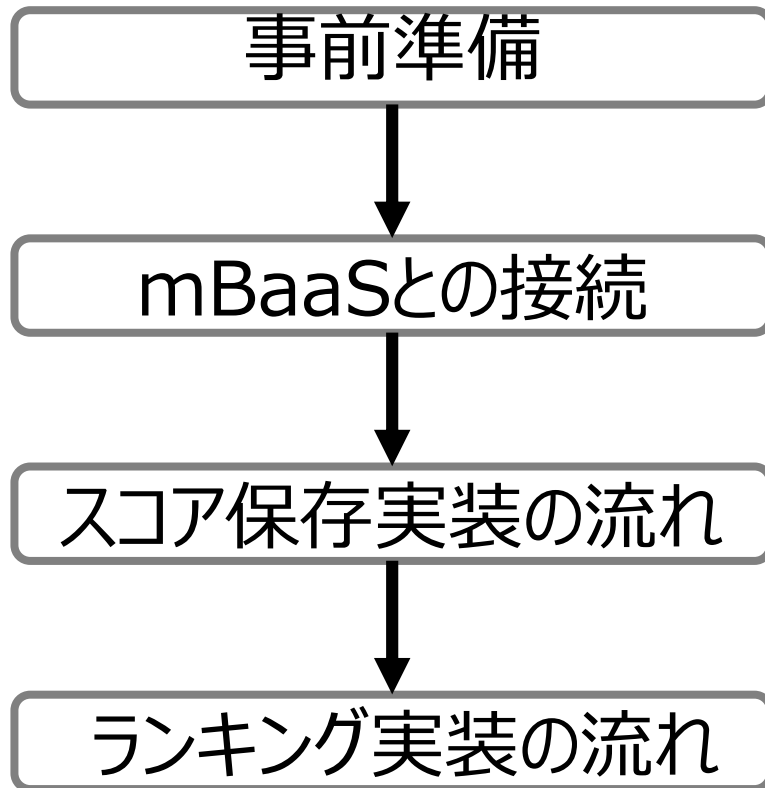


ランキングに  
遷移

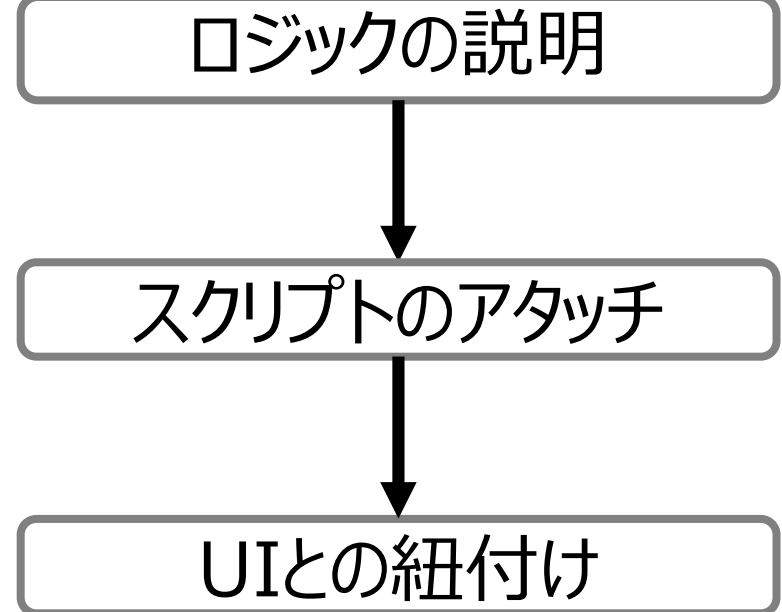


上記のように名前とスコアが表示されたら成功です！

mBaaSへの認証の準備が終わりましたのでいよいよ  
mBaaSのSDKを本格的に利用する段階に移ります。



「スコア保存実装の流れ」にておこなうこと



Asset>Scenesの「 SaveScore 」 の「 SaveScore.cs」にてmBaaSへのスコア保存を行っています。  
下記のコードが、スコア保存に関するコードになります参照してください。

```
using NCMB; //mobile backendのSDKを読み込む
using UnityEngine;
using System.Collections;
using System.Collections.Generic;

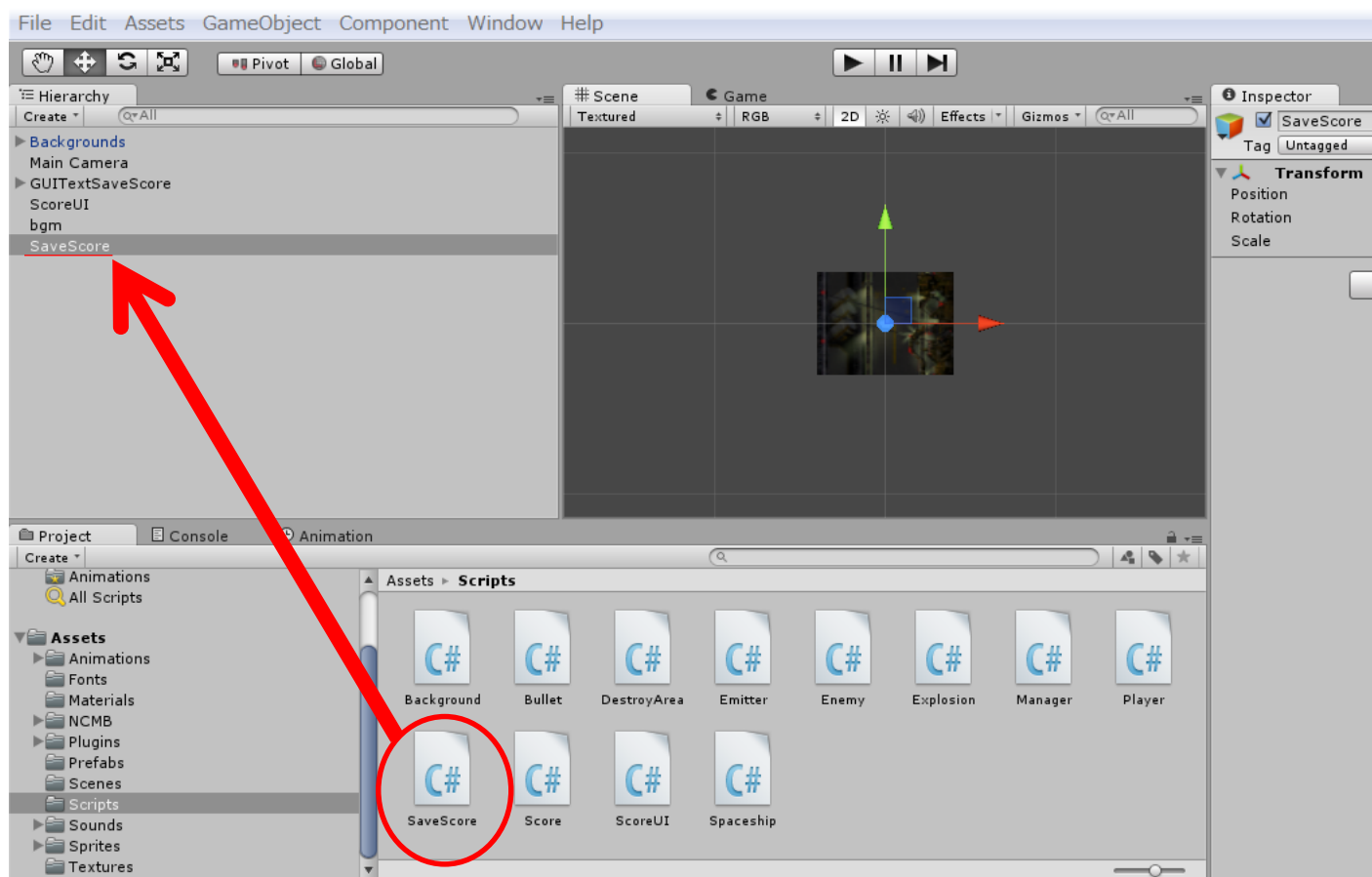
public class SaveScore : MonoBehaviour {
    // mobile backendに接続-----
    public void save( string name, int score ) {
        NCMBObject obj = new NCMBObject ("Score");
        obj.Add ("name", name);
        obj.Add ("score", score);
        obj.SaveAsync ((NCMBException e) => { //非同期でサーバーに書き込む
            if (e != null) {
                //エラー処理
            } else {
                //成功時の処理
            }
        });
    }
}
```

更新するクラスを指定

オブジェクトに名前とスコアを設定

データストアに保存する操作

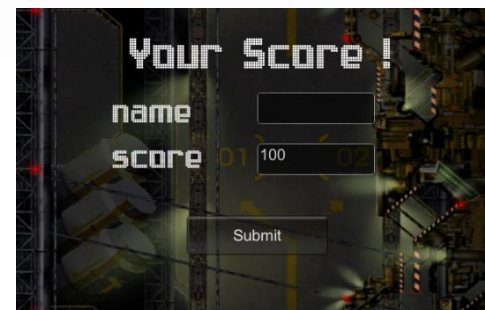
Asset>Scenesの「 SaveScore 」 シーンの「 SaveScore」 Game Objectを作成し  
先ほどの「SaveScore.cs」スクリプトをアタッチしています。





## UIとの紐付け

Asset>Scriptの「ScoreUI.cs」のOnGUIでは  
右のゲームオーバー画面の「Submit」ボタン押した際に  
スコア保存ロジックが駆動するようになっています。  
スコアと一緒に任意の名前も設定できています。

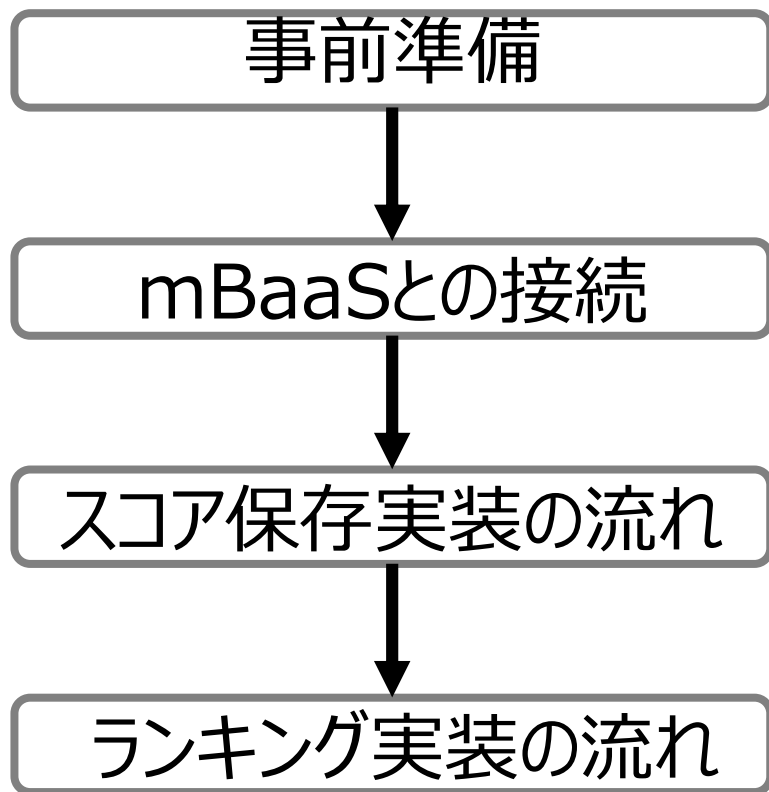


```
void OnGUI () {  
    drawSaveScore();  
    // ログインボタンが押されたら  
    if (SubmitButton) {  
        //SaveScoreを読みこみ、メソッドを呼び出す  
        FindObjectOfType<SaveScore> ().save (name, score);  
        //ステージシーンを読み込む  
        Application.LoadLevel ("Stage");  
    }  
}
```

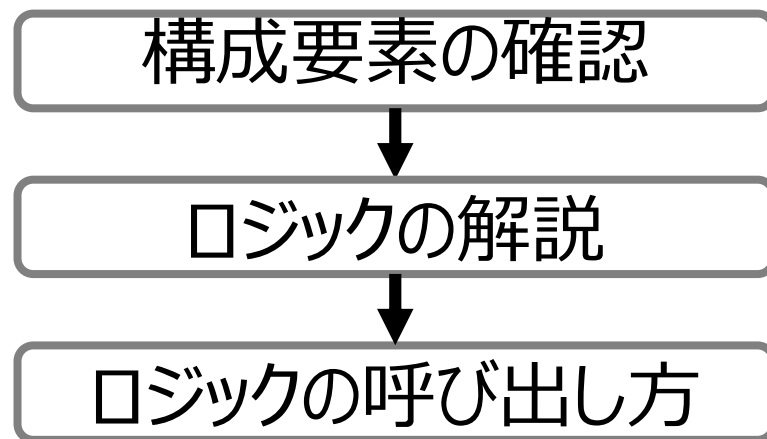
以上にてライトプランは終了です！  
ご参加いただきありがとうございました！  
ぜひ、下記のURLよりアンケートにお答えください。

<https://inquiry.nifty.com/webeq/preview/1150?mpkey=G5y9/5xdnEp59Sq224Rp2w%3D%3D>

データストアの取得を応用し、ランキングを作成します。  
本体験会ではコーディングはせず、ランキングの構成要素とロジックの解説を行います。



「ランキング実装」にておこなうこと



※本ページ以降は  
スタンダードプランの内容になります。

ランキングはAsset>Scenesの「LeaderBoard」シーンで生成されています。  
下記にその構成要素と各役割を記します。

- LeaderBoardシーンには以下のスクリプトが含まれています。
  - LeaderBoard.cs
    - mobile backendと接続してスコアと名前を引き出す
  - LeaderBoardManager.cs
    - ランキングの表示部、LeaderBoard.csを呼び  
スコアと名前を引き出しランキングを描画
  - Rankers.cs
    - 引き出したスコアと名前を一時的に保存するもの
- スクリプト以外のものは以下になります。
  - 各種見出しGUITextオブジェクト
  - 順位とプレイヤー名、スコアを表示する  
GUITextオブジェクト

mBaaSデータを取得するロジックはAsset>Scripts 「LeaderBoard.cs」に記載されています。

```
public void fetchTopRankers(){
```

```
// データストアの「HighScore」クラスから検索
```

スコアを保存しているScoreクラスを  
操作するクエリの作成

```
NCMBQuery<NCMBObject> query = new NCMBQuery<NCMBObject> ("Score");
```

```
query.OrderByDescending ("score");
```

scoreカラムを降順に並び替えて  
引き出すよう設定

```
query.Limit = 5;
```

5個だけ取り出すように設定

```
query.FindAsync ((List<NCMBObj> objList ,NCMBException e) => {
```

データストアからスコアと名前を引き出す操作

```
    if (e != null) {  
        //検索失敗時の処理  
    } else {  
        //検索成功時の処理  
        List<NCMB.Rankers> list = new List<NCMB.Rankers>();  
  
        foreach (NCMBObj obj in objList) {
```

引き出したオブジェクトからscoreだけを取り出す

```
            Int  s = System.Convert.ToInt32(obj["score"]);
```

引き出したオブジェクトからnameだけを取り出す

```
            string n = System.Convert.ToString(obj["name"]);  
            list.Add( new Rankers( s, n ) );
```

----以下省略----

引き出した  
スコアと名前を  
Rankersクラスに保存

今回、LeaderBoard.csはUnityに依存しない形で実装しています。  
開発状態によってはUnityに依存しない形で実装したいこともあるかと思います。  
その場合のメソッドの呼び出し方については下記で解説いたします。

```
LeaderBoard IBoard;  
  
IBoard = new LeaderBoard(); // LeaderBoard クラスのインスタンス生成  
  
IBoard.fetchTopRankers(); //メソッドの呼び出し
```

なお、上記のコードはAssets>Scripts の「LeaderBoardManager.cs」にて記載されています。

以上にてスタンダードプランも終了です！  
ご参加いただきありがとうございました！  
ぜひ、下記のURLよりアンケートにお答えください。

<https://inquiry.nifty.com/webeq/preview/1150?fmpkey=G5y9/5xdnEp59Sq224Rp2w%3D%3D>



@nifty



NIFTY  
Cloud  
ニフティクラウド

ありがとう 5周年

Going  
Next  
Stage

ニフティとなら、きっとかなう。  
With Us, You Can.

NIFTY Cloud  
ニフティクラウド